FFRI yarai 導入事例

ソニー銀行株式会社 様

個人に特化したオンラインバンキングサービスを展開
セキュリティ対策は「本当に必要なものを見極め、未然に手を打つ」

ソニー銀行株式会社様（以下、敬称略「ソニー銀行」）は、個人のお客様のための金融商品やサービスを提供するインターネット銀行です。2001年の開業以来、「フェアである」を企業理念に掲げ、市場動向に基づいた金利・価格の設定、分かりやすい商品・サービスの提供を目指しています。従来、人手に多くを依存していたために、一部の限られたお客様にしか提供できなかった高度な金融サービスを、ITを駆使することでより多くのお客様にご提供しており、今や口座数は100万件を超え、資産規模も2兆円に達しています。

システム企画部長
福嶋　達也 氏

ソニー銀行は、金融商品・サービスの拡充だけでなく、お客様の大切な資産を守るためのセキュリティ対策にも注力しています。

「セキュリティ対策の基本方針は、大きく2つあります。一つは、脅威が顕在化しつつあるものについては、問題が発生する前に適時適切なタイミングで予め手を打つということ。もう一つは、堅実な対策、つまり、本当に効果のあるものをしっかりと選択し、採用することです。
例えば、認証強化のためのハードウェアトークンによるワンタイムパスワードの導入は、お客様の使い勝手や実際にどれだけ利用していただけるのかということを突き詰めて検討した上で、本当に意味のある対策を導入しています。」（福嶋氏）

導入の背景
高度化するサイバー攻撃から経営資産を守る「最後の砦」の必要性

オンラインバンキングでの不正送金や、標的型攻撃による情報漏えいの深刻化など、サイバーセキュリティ上の脅威が増大している中で、ソニー銀行では今まで以上にセキュリティ対策レベルを上げていく必要性を感じていました。
「ソニー銀行においては不正送金や情報漏えいといった事案は発生していないものの、昨今のサイバーセキュリティを取り巻く情勢に照らし、セキュリティ対策の強化は必須と考えていました。」（福嶋氏）

標的型攻撃などの高度なサイバー攻撃対策を視野に入れた社内システムのセキュリティ強化を検討していたソニー銀行では、既に内部ネットワークの監視による不正通信の発見とサンドボックスによる未知のサイバー脅威の検出を目的としたゲートウェイ型のセキュリティ対策製品を導入したばかりでしたが、さらなる対策強化を求めていました。

「そうした中で強化ポイントとして浮上してきたのが、最後の砦としてのエンドポイントでのセキュリティ対策です。これまでもエンドポイントセキュリティについては様々な対策を施してきましたが、もう一段対策レベルを上げる必要があると考えていました。」（隅本氏）

システム企画部　マネージャー
隅本　修一郎 氏

導入の経緯
求めていたのは既存の対策では対応できない脅威を検知するソリューション

「エンドポイントでのセキュリティ対策としては、パターンマッチング型のウイルス対策やURLフィルタリングの導入、端末のシンクライアント化も実施していましたが、そうした対策だけでは対応できない脅威を検知するためのソリューションを検討していました。
ネットワークレイヤーには既にプログラムの振る舞いから脅威を検知するサンドボックスを導入していましたが、異なる防御レイヤー（エンドポイント）に対して、異なる検知ロジックを持つ振る舞い検知製品を導入することで、より強固なセキュリティ対策を実現できると考えていました。」（隅本氏）

「製品選定プロセスにおいては、セキュリティコンサルティング企業とともに評価を実施し、外資系セキュリティベンダーの製品も含めて比較検討しましたが、最終的には機能とコストのバランスに勝るFFRI yaraiを選定しました。
サポート体制という観点でも、国内でハイレベルな体制があることは重要なポイントでした。特にセキュリティについては、日本をターゲットにしたサイバー攻撃が活発化するなど、ドメスティックな要素が重要なケースもあるため、国内に研究開発の体制があり、国内で発生した問題に対してレスポンスが速いことは重視していました。」（福嶋氏）

導入の効果
運用負荷を最小限に抑えつつ、セキュリティ対策レベルの向上を実現

FFRI yaraiはソニー銀行の社内システムのOA系システムの全端末に導入されています。

「事前評価フェーズでも確認していましたが、セキュリティ対策製品にありがちな特定のシステム環境との相性や、他社製品との競合といった問題もなく、既存のセキュリティ対策製品と共存しても、端末の動作が重くなるようなことはありません。過剰検知については、導入前に検証してホワイトリストに登録していたので、導入後に問題になったことはありません。製品バージョンアップの頻度が年に1～2回と少ないことも運用上のメリットを感じています。」（隅本氏）

今後の展望
セキュリティ対策に終わりはない、継続的な見直しのプロセスが重要

ソニー銀行では、社内向け・お客様向けシステムを問わず、自社を取り巻くIT環境とサイバーセキュリティ動向を見定め、継続的なセキュリティ対策強化を検討していくとのことです。

「現状から考えて、今後、サイバー攻撃が質・量ともに下降線を辿るイメージは持っていません。セキュリティ対策に終わりはなく、『今後、足りないものは何か』を把握するために適切なタイミングでアセスメントを実施し、ソリューションの導入だけでなく、セキュリティの運用体制も継続的に強化していきます。」（福嶋氏）

製品・サービスについてのお問い合わせは
株式会社ＦＦＲＩセキュリティ
〒100-0005
東京都千代田区丸の内3-3-1　新東京ビル2階
TEL：03-6277-1811　E-mail：sales@ffri.jp
本製品に関する情報はインターネットでもご覧いただけます。
https://www.ffri.jp/

Ver. 2.00.03　2017年1月現在